

授業科目 法学入門

【担当教員名】  成嶋 隆	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・健栄・スポ・看護・情報	
	開講時期	後期	必修選択	選択	
	単位数	2	時間数	30	
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	○	○	○	○	
【概要・一般目標：G10】 医療・福祉関係の職業に必要な法の基礎知識を習得することを目的として、法学の基礎を学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1 社会において法が果たしている役割について正しく理解する。 2 犯罪と刑罰の関係について学び、とくに刑罰のあり方について考察する。 3 法とともに社会規範の1つである宗教と、法の関わり合いについて考察する。 4 家族関係における法律問題を学ぶ。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	法とは何か 1 (社会規範の1つとしての法の特徴のうち、外面的なルールであること、権利と義務に関するルールであることを学ぶ。)				講義
2	法とは何か 2 (法の特徴のうち、紛争解決のルールであること、強制力を伴うルールであることを学ぶ。)				講義
3	法の支配 1 (法の支配の意味について理解した後、この考え方が表れている場面である税務行政について学ぶ。)				講義
4	法の支配 2 (法の支配の考え方が表れているもう1つの場面として警察活動を考える。)				講義
5	犯罪と法 1－死刑制度・その1 (死刑制度の概要、死刑についての国際的な動向などを学ぶ。)				講義
6	犯罪と法 2－死刑制度・その2 (死刑存廃論について考察する。)				講義
7	犯罪と法 3－尊属殺 (尊属殺に関する法規定、尊属殺をめぐる裁判について学ぶ。)				講義
8	宗教と法 1－(戦前・戦後の宗教状況、日本国憲法の宗教規定について理解する。)				講義
9	宗教と法 2 (信教の自由をめぐる具体的な事例について学ぶ。)				講義
10	家族と法 1 (日本国憲法の家族条項について学んだ後、婚姻の意義を考える。)				講義
11	家族と法 2 (婚姻障害事由について学ぶ。)				講義
12	家族と法 3 (婚姻の効果、離婚に関する法規定などを学ぶ。)				講義
13	家族と法 4 (親子法、代理出産などについて学ぶ。)				講義
14	家族と法 5 (相続法について学ぶ。)				講義
15	期末試験				講義
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書	ポケット六法平成 24 年版		有斐閣	2011・1,800 円	
その他の資料					
【評価方法】 学期末に実施する期末試験による。			【履修上の留意点】 とくになし。		